

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町 ■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町・高梁市

くらしき東 3直売所が総会を開く 菅生・早島町・児島

くらしき東管内の菅生、早島町、児島にある3店舗の直売所それぞれ総会を開きました。

児島直売所「郷の里」は4月24日、早島町直売所ふれあい青空市は5月9日、菅生直売所ふれあい青空市「すがお」は5月25日にそれぞれ行いました。



開会挨拶をする秋山前委員長(菅生直売所)



新運営委員 児島直売所

総会では、29年度事業報告ならびに活動実績・収支決算報告及び30年度事業計画・収支予算の議案について審議しました。

また、菅生と児島の直売所では、運営委員の改選も行いました。

今年度、新体制で運営をスタートしています。

よろしくお願いいたします。

くらしき東 のびのび女性部活動 女性部くらしき東ブロック総会

くらしき東ブロック女性部は4月25日、菅生支店会議室で通常総会を開きました。

総会は、JA女性組織綱領の唱和から始まり、木村由子部長の挨拶の後、議案審議へと入りました。

議事では29年度の活動・収支報告及び、30年度の活動・収支計画などの議案は慎重に審議され、全て承認されました。



開会の挨拶をする木村由子部長



苗の植え付けをする子どもたち



第1回親子キッズクラブ

今年度の第1回目となる「親子キッズクラブ」を4月28日、菅生地区の圃場で開きました。

この活動は、くらしき東ブロック女性部が行っており、今回は10組の親子が参加し、サツマイモ苗の植付け体験をしました。参加者は、部員から植え方を教わりながら、1本1本丁寧に植えていきました。

※この苗植えについては、家の光協会が発行する月刊誌「ちやぐりん」5月号にも分かりやすく掲載しています。

くらしき東 管理方法を確認し栽培に備える 水稻育苗講習会

くらしき東管内の会場10か所で、4月20日から27日にかけて、水稻育苗講習会を開きました。

この講習会は、毎年、苗作り前の時期に開かれており、今年度も各支店の営農経済渉外員とくらしき東アグリセンターの担当者が、水稻の育苗管理と水田の初中期管理などについて説明を行いました。参加した生産者の方々は、良質なお米をつくるため、熱心に聞いていました。



管理について説明するアグリ担当者(豊洲支店)

くらしき東 栽培技術向上と安定生産を目指して モモの栽培講習会と販売会議



営農指導員から摘果について説明を聞く生産者

浅原園芸組合は4月27日、浅原選果場でモモの栽培講習会を開きました。

講習会では、備南広域農業普及指導センターの普及員から今年度の開花時期のほか、今後の生育予想、摘果のポイントやせん孔細菌病などについての説明がありました。その後、圃場へ移動して、摘果作業などのやり方を学んでいきました。

また、4月24日には「サン・ピーチOKAYAMA」で桃販売会議が開催され、昨年の販売実績や今年度の生産などについて話し合いが行われました。

倉敷西 高品質モモで有利販売へ 玉島北園芸協会モモ部会

モモの高品質な生産を目指して、玉島北園芸協会モモ部会は5月1日・2日、管内6園地で栽培講習会を開きました。

2日間で160人の生産者が参加し、備南広域農業普及指導センターの普及員とJA果樹指導担当者から、防除のタイミングや摘果の指導を受けました。

部会員は、講習会終了後も意見を交わし、今年度の栽培に意欲を掻き立てていました。



管理について説明を聞く生産者



倉敷西 気持ちを伝える花アレンジ 女性部玉島支部



素敵なアレンジが出来ました

女性部玉島支部は5月10日、玉島支店2階で『フラワーアレンジメント教室』を行いました。

用意したのは、カーネーションやミニバラ、矢車草、ナルコユリで、部員がそれぞれ好みの草花を使い、色鮮やかなフラワーアレンジメントが出来上がりました。

参加者は「母の日のプレゼントにしたい」「初めて作ったがきれいに出来た」と笑顔で話していました。

出荷量増へ向け反省会 船穂町花き部会

船穂町花き部会は5月11日、「セントイン倉敷」で29年度反省会を開きました。
会場には、生産者、JA、全農、市場関係者、備南広域農業普及指導センターが出席し、29年度の反省点と市場から販売情勢、産地への要望等が協議されました。
反省会では、天候不順により出荷量が計画を下回ったことから、29年度を上回る実績を目指して栽培に取り組むよう申し合わせました。



今後の課題について話し合われました



地域と共に歩んで17年 玉島直売所ふれあい朝市「おなじみさん」



多数の来店ありがとうございます

玉島直売所ふれあい朝市「おなじみさん」は5月19日、「17周年記念セール」を行いました。
当日は、新鮮な農産物を求めて多くのお客さまが来店され、お買い上げ先着で花ポットやコロッケのプレゼント、洋ランなどが当たるガラポンを行い大変喜んでいただきました。また、特設テントでは「吉田製麺所」の手打ちうどんや「パン工房あるてふあつと」のパン、女性部玉島支部のおこわやいなり寿司などの販売も好評でした。

市場と連携しブドウの販売強化 船穂町ぶどう部会

船穂町ぶどう部会は5月22日、鷺羽ハイランドホテルで「30年度取引会議」を開きました。ぶどう部会役員、重点市場、備南広域農業普及指導センター、全農、JA関係者が出席して30年度のブドウ販売について協議しました。
普及指導センターとJA果樹指導担当者より、本年の天候の状態と生育状況について報告があり、JAからは今年度の出荷計画、市場からは市場情勢と産地への要望が説明されました。



挨拶をする浅野三門部会長

児童を招きモモ袋掛け体験 地元農業への理解を深めて



生産者に教わりながら袋掛けをする児童

里庄支店は5月24日、モモ生産者平野一通さんの圃場で、里庄西児童クラブの児童30人とモモ（紅清水）の袋掛け作業を手伝いました。
児童たちは、平野さんから教わりながら自分の名前と「元気に育ってね」などメッセージを書いた袋600枚を、一つ一つ丁寧にモモの実に掛けました。
平野さんは「モモ栽培のいろいろな作業を体験してもらい、育てる楽しさを覚えてほしい」と話していました。



移動総会で意志統一 女性部活動で地域との絆づくり

女性部清音支部は4月13日、玉野市の「ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル」で移動総会を開きました。
総会では、29年度の活動報告や収支決算などの2議案を承認しました。
清音支部は、地域活性化を目的に、アグリキッズスクールや地域づくり協議会と協力して地域住民を対象にした健康教育などを行い、地域との絆づくりを大切にしています。30年度も引き続き、目標に取り組みことを部員相互で確認しました。



移動総会に参加した女性部員44人
JA職員

青果物生産販売大会で意見交換 生産者ら130人が会する



挨拶をする茅原弘和部会長

JA岡山西と吉備路園芸振興部会は4月27日、総社市の「サントピア岡山総社」で、青果物生産販売促進大会を開きました。
吉備路アグリセンターから「生産対策、安全・安心に向けた取り組み」「出荷販売への取り組み」「担い手・産地（地域）への取り組み」の三つの基本方針を説明し、市場情勢や産地へ期待することなどについて意見を交わしました。また、大会特別企画として、新規就農者2人が農業に対する思いを発表しました。



「野菜学級」開催 女性部真備支部

女性部真備支部は5月9日、真備西支店2階で「野菜学級」を開きました。
今回は、JA営農指導担当者より「夏野菜の栽培管理」について説明をしました。参加者は、熱心にメモを取り「知らん事があるなあ」「今年はええ野菜を作るで」などと話していました。
女性部真備支部は、こうした野菜の勉強会を年5回程度開いています。安全・安心な野菜作りについて一緒に勉強しませんか。お問い合わせは真備西支店まで TEL086-6698-0018



夏野菜の管理方法を説明する
営農指導担当者

ピオーネ県内初出荷 大粒で糖度17度と良品質



丹精したラドウを収穫する水畑さん

総社市内の生産者、水畑浩志さんの栽培するニューピオーネが5月14日、県内トップを切って初出荷されました。12月からの極早期加温により、9月のハウスでは、昨年に増して大粒で糖度も17度と高く良品質に仕上がりました。岡山中央卸売市場に出荷されたニューピオーネは、15日には県内の百貨店などに並びました。
ピオーネ出荷は7月上旬から本格化し、加温、無加温、露地物の順に11月下旬まで出荷されます。

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町
■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町弥高

吉備路 山手直売所「ふれあいの里」 8周年記念イベントで盛況

4月21日、8周年記念イベントを開きました。B級グルメ屋台を設けて、美星産の豚串焼き、焼きソバなどを販売したほか、ステージイベントで会場を盛り上げました。山手直売所出荷者の会植田耕治会長は「8周年を迎えることができ、これからも利用者に満足いただけるよう安全・安心・新鮮な青果物を取り揃えていきたい」と話していました。



人気だった加工部販売ブース



おにぎりのサービスに列をなす来場者

ミニイベント「新緑フェア」

5月19日、ミニイベント「新緑フェア」を開き、旬の時期に冷凍保存していた地元タケノコと、生産者から提供いただいた採れたてのワラビなどを炊込み、おにぎりにして振舞いました。450個用意したおにぎりは「おいしい」と好評で、1時間ほどでなくなりました。また、ステージ演奏なども行い、来場者はイベントを楽しんでいました。

西部 井原ぶどう塾開講 新規栽培者の確保を目指す

30年度の井原ぶどう塾が4月27日、美星支店2階会議室で開催しました。30年度の参加者は約20人で、ブドウ作りに興味がある人をはじめ、就農予定者や新規就農者、栽培経験の少ない生産者などが基礎から実践的なブドウ栽培について学びます。



講座の内容について確認する参加者



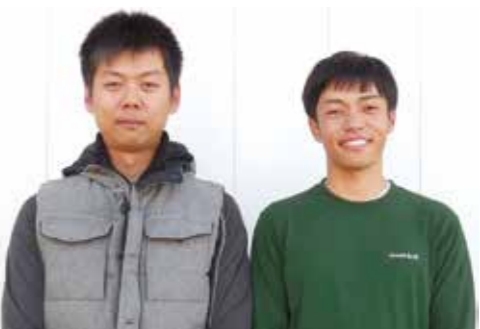
圃場実習の様子

井原ぶどう塾は、ブドウ栽培の基本的な作業を実際に体験することで、ブドウ作りの楽しさを知ってもらい、新規就農者を増やすことを目的としています。

講座は、来年1月までに7回行う予定で、ブドウの生育時期に合わせた栽培管理技術を学ぶことができる好評です。参加者は、秋には自分で作ったブドウを収穫する予定です。

西部 農業実務研修生2人の受入れ ブドウ産地の担い手を育てる

井原市ぶどう部会は、担い手対策として今年も新たに2人の実務研修生を受入れ、4月から2年間の研修に入りました。芳井町高原地区で研修を受ける榎本輝さんは、「ブドウの栽培技術と農業経営研修を通じてしっかり学び、喜んで食べてもらえるようなブドウを作れるように頑張ります。」明治地区で研修を受ける榎木林草さんは「ワクワクしています。ブドウと同様に、この地に根を下ろしていきけるよう頑張ります。」と意気込みを語っていました。



(左)榎本輝さん(右)榎木林草さん

西部 プロ野球日帰り観戦ツアー 芳井支店企画旅行

芳井支店は4月30日、支店企画旅行としてマツダスタジアムで開かれた、「広島カープVS阪神タイガース」のプロ野球観戦ツアーを行いました。この日は、ゴールデンウィークと言うこともあり、満員の観客の中での観戦となりました。参加した36人の皆さんは、思い思いの応援をしながら白熱したプロ野球の醍醐味を楽しんでいました。今後も皆さまに楽しんで頂ける企画をしますので、ご参加お待ちしております。



観客で満員のマツダスタジアム

西部 いきいき女性部活動 初夏の寄せ植えを楽しむ

女性部井原東支部東主班は5月9日、「こだま園」職員の方の指導のもと、初夏の花の寄せ植えをしました。植え込む花の説明の後、管理の仕方や綺麗に見える植え方など、丁寧に教えていただき、各自で植え込みをしました。作業中は、部員同士も声を掛け合いながら、楽しく行うことが出来ました。出来上がった寄せ植えは、季節の色彩とどりの花で華やかな仕上がりととなり、皆さん喜んでいました。



思い思いに花を植えこむ女性部員



西部 園児が籾播き 米作り体験で農業を身近に

井原市立西江原幼稚園で5月16日、食農教育の一環として、つき組・ほし組の5才児39人が籾播きの体験をしました。園児たちは、JAの営農指導担当者から米になるまでの説明を聞いた後、種籾を丁寧に播いていきました。また、芽が出た後の水やりの説明を聞くと、待ちきれない様子で笑顔を見せていました。今回播いた籾は、約1か月間の管理をした後、バケツへ苗の植え付けをする予定です。



丁寧に籾を播く園児たち

